

KENCON COOP JOURNAL

No. 126

編集/発行

建設コンサルタンツ協同組合
Japan Consulting Engineers Cooperation

〒110-0001
東京都台東区谷中3-1-5 谷中ミナミビル303号
TEL. 03-5834-7760 FAX. 03-5834-7761
URL <http://www.kencon-coop.or.jp>
E-mail webmaster@kencon-coop.or.jp

【建コンコープジャーナル】2026年6月22日発行 通巻第126号



建設コンサルタンツ協同組合 理事長

藤本 尚伸

「情報共有」と「知恵の結集」で、
不確実な時代を切り拓く



建設コンサルタンツ協同組合 副理事長

山内 一晃

組合各社の技術力を含めた総合的な
資質向上に向け、様々な施策を。



建設コンサルタンツ協同組合 副理事長

藤條 豪史

地域密着の特性を活かした知の融合を
図るため、環境づくりと魅力の発信を。

第64回通常総会開催



組合員紹介

サキコンサルタンツ株式会社(東京都目黒区)

株式会社トーコー福岡(福岡県福岡市)

ティー・アンド・ティー株式会社(東京都港区)

CONTENTS.

藤本尚伸理事長ご挨拶	1
山内一晃副理事長ご挨拶	2
藤條豪史副理事長ご挨拶	3
第64回通常総会	4
【組合員紹介】サキコンサルタンツ株式会社	6
【組合員紹介】株式会社トーコー福岡	7
【組合員紹介】ティー・アンド・ティー株式会社	8
組合員名簿	9

建設コンサルタント技術者の心得



建設コンサルタント技術者はその使命と職責を自覚し、社会的地位の向上を図るために、下記の各条を実践する。

一. 人格の形成

知的産業に従事する職業人としての常識と教養を身に付け、さらに敬愛される人格の形成に精進する。

二. 技術力の向上

あらゆる機会に合理性と創造性を追求し、常により高い技術力の修得に努力する。

三. 倫理の徹底

いかなるときも中立的立場を堅持し、秘密を厳守して、クライアントおよび公共に不利益をもたらさない。

四. 公共の福祉増進

建設関連業を通じて、公共の福祉増進に貢献し、地域ひいては国家の繁栄に寄与する。

この「心得」は企業としてのモットーであるべきであると同時に、建設コンサルタント業の社員一人一人の心得るべき事項でもある。社内規定等に採用するとともに、あらゆる機会にこれを表示して、建設コンサルタント技術者の認識と社会的地位向上のために資していただきたいと考えるものである。

「建設コンサルタント技術者の心得」は第6代福岡保理事長の提案で常設の「経営研究会」が設置され、当協同組合のモットーともいうべき標語の検討にかかった。慎重審議を重ね、平成2年3月23日の理事会で制定をみるに至った。

ご挨拶

建設コンサルタント協同組合 理事長

藤本 尚伸

～「情報共有」と「知恵の結集」で、不確実な時代を切り拓く～

組合員の皆さまにおかれましては、平素より組合活動に対し格別のご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

先般の「第64回 通常総会」の開催にあたりましては、多くの組合員の皆さまにご出席、ならびに書面表決・委任状のご提出という形でご協力をいただきました。皆さまの積極的なご参画により、総会が適法かつ円滑に成立いたしましたことは、当組合の結束力の表れであり、ここに重ねて深く感謝申し上げます。

さて、皆さまも日々の業務のなかで肌で感じておられる通り、現在の世界情勢は依然として不透明な状況が続いております。エネルギー価格の高騰や資材調達の不確実性、国の財政状況の変化、さらにはインフラ整備の優先順位の見直しなど、私たち建設コンサルタント業界を取り巻く環境は激変しており、今後の影響を見通すことは容易ではありません。

このような先行きが見えにくい時代だからこそ、私たちが今、何よりも大切にすべきは「情報の共有」であり、そして「知恵の結集」であると考えます。1社単独では解決が困難な課題であっても、組合として力を合わせ、互いの知見を重ね合わせることで、必ずや新たな突破口が見えてくるはずです。

そこで、今年度は組合活動の大きな柱として、「会員交流の強化」を掲げることといたしました。

組合員の皆さま同士が、より気軽に、そして率直に意見を交わせる場を増やしてまいりたいと考えております。現場での気づきや技術的な工夫、経営上の悩み、あるいは若手技術者の育成といった共通の課題にいたるまで、あらゆる情報や想いを共有できる強固な関係性を築いていく所存です。

組合といたしましても、さまざまな交流の場づくりなど、皆さまが参加しやすく、かつ実りのある具体的な取り組みを積極的に推進してまいります。皆さまに「組合に加盟して本当に良かった」と実感していただけるような活動を、皆さまとともに創り上げていきたいと考えております。

私たち建設コンサルタントは、地域の安全・安心を支え、社会の基盤を担う専門家集団であり、いかなる時代にあっても社会に欠かせない存在です。この不確実な時代を乗り越えるためにも、互いに支え合い、学び合いながら、確固たる一歩をともに踏み出してまいりましょう。

今後とも、皆さまからの忌憚のないご意見やご提案をお寄せいただけますようお願い申し上げますとともに、組合員各社のますますのご発展と、皆さまのご健勝を心より祈念いたしまして、発刊に際してのご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

建設コンサルタンツ協同組合 副理事長

山内 一晃

令和8年5月21日に開催された第64回通常総会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

組合員の皆様におかれましては平素より組合活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今回の総会において議題の中で通常行われている議案の他に、理事1名を増員させていただきました。理事には神奈川県の子会社ブライア・コンサルタント代表取締役 巖 駿様になっていただきました。従来の役員共々どうぞお役立てください。

また、総会後の懇親会では国土交通省からは不動産・建設経済局 建設市場整備課の方が2名来ていただきました。懇親会に参加していただいた皆様と共に大変有意義な時間を過ごさせていただいたことに感謝申し上げます。今後も皆様の意見を直接伺い、交流の場を徐々に増やしていきたいと思っております。



さて全国各所で頻発する地震や激甚化する気象災害等、我々の国土は大変な時代となってきております。またアメリカ・イスラエルのイラン攻撃による世界的な原油価格の高騰、それに関連するナフサをはじめとする資材・物価の品薄・高騰など、さらには人手不足、働き方改革、猛暑対策、熊対策と我々の業界のみならず問題が山積みの状態であります。

このような中、それらに対応する力を維持し、更なる向上を目指すために、通常の業務遂行による技術の研鑽と企業体力の維持、人材の確保と育成、新技術への投資が必要となっており、皆様、会社経営に対し、なみなみならぬご努力をされていることと存じます。我々、土木設計の技術者は育成に長い年月がかかり、継続的に教育訓練を実施し、業務を通して技術を研鑽していかなければなりません。この様な技術者を守り成長を促すことが、日本の国土や社会資本を守ることに繋がります。

そのためには待遇や働き方を継続的に見直し、夢や将来のある魅力的な企業として、若年層を惹きつける場となる必要があります。組合各社の技術力を含めた総合的な資質向上にむけ、様々な施策を検討してまいります。

今後ますます会社経営、人材確保が難しい中、皆様と共に組合の根源である「相互扶助の精神」により乗り越えていきたいと思っております。役員一同、皆様のお役に立てるように試行錯誤していく所存でございますので、今後も更なるご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

ご挨拶

建設コンサルタンツ協同組合 副理事長

藤條 豪史

令和8年5月21日に開催されました第64回通常総会におきまして、今期も引き続き副理事長という立場で、藤本尚伸新理事長の下、組合の活動に参加できること厚く御礼を申し上げます。

当組合は昭和37(西暦1962)年6月に設立された歴史のある組合であります。戦後の高度経済成長が本格化し、日本中で道路や橋梁、上下水道、港湾、河川整備が急速に進められた時代です。社会資本整備の需要が爆発的に増える中、技術者の専門性を集結し、“相互扶助”という精神で設立されたのが、当組合です。

第64回ということは、64年間にわたって建設コンサルタントという立場で、高度経済成長期の社会資本整備、公害・環境問題への対応、災害復旧・復興、インフラ老朽化への対応、アセットマネジメント、DX・AI時代の技術革新と、常に時代の課題の最前線に立ってきたのが、建設コンサルタント技術者であります。私自身も誇りある魅力のある業種であると常々感じているところです。



そんな魅力のあると感じている建設コンサルタント業界の実態というと、近年では50代・60代が技術の中核を担い、若手が極端に少ない逆ピラミッド構造が進んでいるのが現実です。私自身も来年には還暦を迎える年齢となり、技術者として歩んできた道のりを振り返る中で、“未来のこどもたちに明るい笑顔を”という思いの中に何ができるかということを考えることが強くあります。当組合のほとんどが中小建設コンサルタントという立場で、その地域をどこよりも把握していることでの、現場での判断力、住民との対話、行政との信頼関係をもって、その技術を最大限に発揮できる立場にある技術者を要した企業であると思っています。

当組合は北は北海道、南は鹿児島に至る全国100社以上の組合員で構成されている地域に密着したその地域を専門とする技術者集団と言えます。そんな特性を活かした知の融合が図れるように、組合員が参加しやすい環境づくりと魅力発信が必要であると感じています。

そんな組合員の皆様と一緒に魅力ある建設コンサルタント業界を目指すべく、担い手不足と言われることのない魅力ある業界実現に向けて、今後も「相互扶助の精神」で組合活動に進めていく所存です。更なるご理解、ご協力、よろしくお願いいたします。

第64回通常総会開催

令和8年5月21日(木)、第64回通常総会が開催されました。
国土交通省 不動産・建設経済局 建設振興課 専門工事業・建設関連業振興室
建設振興係長 冷牟田 駿様、
国土交通省 不動産・建設経済局 建設振興課 専門工事業・建設関連業振興室
企画専門官 丸山 和訓様にもお越しいただきました。



建設コンサルタンツ協同組合 第64回通常総会議事録

1. 総会の種類 第64回通常総会
2. 招集年月日 令和8年4月30日
3. 開催日時 令和8年5月21日 15時00分
4. 開催場所 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館ビル9階 喜山倶楽部 芙蓉の間
5. 議事の経過の要領及びその結果(議案別の可決、否決の別及び賛否の議決権数)
 - 第1号議案 令和7年度事業報告書及び決算関係書類承認の件
議長は、令和7年度の事業報告書を宮崎直人に朗読、説明させた。引き続き、宮崎直人が令和7年度財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案を朗読、説明し、次いで監事を代表して大野史郎が別紙監査報告書どおり報告した。
議長は、その承認を議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認した。
 - 第2号議案 令和8年度事業計画及び収支予算決定の件
議長は、宮崎直人に原案を朗読させ、その内容を詳細に説明させ、これを議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認した。
 - 第3号議案 令和8年度経費の賦課及び徴収方法決定の件
議長は、宮崎直人に原案を朗読させ、その内容を詳細に説明させ、これを議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認した。
 - 第4号議案 令和8年度借入金残高の最高限度決定の件
議長は、宮崎直人に原案を朗読させ、その内容を詳細に説明させ、原案として本年度借入を行わない旨を議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認した。
 - 第5号議案 1組合員に対する貸付金残高及び債務保証残高の最高限度決定の件
議長は、宮崎直人に原案を朗読させ、その内容を詳細に説明させ、原案として本年度貸付事業及び債務保証事業を行わない旨を議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり承認した。
 - 第6号議案 役員報酬決定の件
議長は、宮崎直人に原案を朗読させ、その内容を詳細に説明させ、原案として本年度役員報酬を支給しない旨を議場に諮ったところ、満場異議なく原案どおり可決決定した。
 - 第7号議案 役員補充の件
議長は、理事1人の補充選挙をする必要がある旨説明し、その選挙方法として指名推選制をとりたい旨を議場に諮ったところ全員賛成した。議長は指名推選制の全員の同意を得たので選考委員の選出方法を議場に諮ったところ議長一任と決し、議長は選考委員として荒川 洋、橋本和佳の2人を指名し、選考委員によって理事1人の選考に入った。
選考の結果、議長から、選考委員が指名推選した役員の氏名は、下記のとおりである旨を告げ、この承認を諮ったところ、全員異議なくこれを当選者と可決決定した。
なお、当選者はその就任を承諾した。

理事 巖 駿
6. 監事が、総会において監事の選任、解任若しくは辞任について述べた意見又は総会において述べた監事の報酬等についての意見の内容の概要 該当なし
7. 監事が報告した会計に関する議案又は決算関係書類に関する調査の結果の内容の概要
 - 第1号議案(令和7年度事業報告書及び決算関係書類承認の件)に記載のとおり

以上をもって第64回通常総会の議案全部の審議を終了したので、議長は退任の挨拶を行い、司会者から閉会を告げ散会した。

令和8年5月21日



ご来賓

国土交通省 不動産・建設経済局
 建設振興課 専門工事業・建設関連業振興室
 企画専門官 丸山 和訓 様

建設コンサルタント協同組合の第64回通常総会懇親会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。
 本日出席の皆様には、日頃より国土交通行政に特段のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
 我が国の経済や国民生活は、社会インフラにより支えられており、建設コンサルタントは、そのインフラが良質で安全なものとして機能するよう、構想・計画の段階から維持管理に至るまで、事業全体をしっかりとサポートする重要な役割を担っております。
 一方で、自然災害の激甚化・頻発化、少子高齢化、デジタル改革等の社会環境の変化に直面している我が国において、将来における担い手をしっかり確保し、産業としての持続性を高めていくことが必要です。
 そのためにも、まずは必要な公共事業予算をしっかりと確保することが重要です。令和7年度補正予算では、国土交通省発足後初めて2兆円を超える規模の公共事業費を、令和8年度では、6.1兆円強の予算を確保できました。
 また、技術者の賃上げに向け、皆様が適正な利潤を確保できるよう、積算に必要な設計業務委託等技術者単価については、14年連続の引き上げとなり、最高値を更新しました。
 加えて、適正な履行期間確保などによる働き方改革や、ICTの活用をはじめとするi-construction2.0など生産性向上の取組もしっかりと推進してまいります。
 皆様におかれましては、引き続き、これらの施策に対するご理解とご協力をいただければ幸いです。
 結びに、貴組合の益々のご発展と、本日出席の皆様のご健勝・ご活躍を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。



国土交通省 不動産・建設経済局 建設振興課
 専門工事業・建設関連業振興室
 建設振興係長 冷牟田 駿 様



参議院議員

けんざか 茂範

しげのり

今日は、建設コンサルタント協同組合 第64回通常総会のご盛會を心よりお慶び申し上げます。また、皆様方には日頃より温かいご支援を賜り心より御礼申し上げます。

資材価格高騰や担い手不足など、建設産業界を取り巻く環境は大きな転換期を迎えております。第一次国土強靱化実施中期計画を最大限活用し、防災・減災対策の一層の推進とともに、未来への投資となる社会資本整備を着実に進めていくことが重要です。さらに、AIをはじめとする技術革新を取り入れ、生産性向上を図りながら、建設産業界をより身近で先進的な産業へと発展させていかなければなりません。そして、地域の発展と国土の安全を支える産業として、若い世代から選ばれる魅力ある業界づくりを進めていく必要があります。

私も引き続き、防災・減災、国土強靱化、積極的なインフラ投資を通じて、建設産業界の発展と強く豊かな国土づくりに全力で取り組んでまいります。今後とも私の政治活動に対し、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、本日ご参集の皆様方のご健勝と、貴会のさらなるご発展を心より祈念申し上げます。

参議院議員 見坂 茂範 先生 祝電



サキコンサルタンツ株式会社

〒153-0063 東京都目黒区目黒 1-1-1 TEL : 03-3792-9536 FAX : 03-3719-9117

<https://www.sakicon.co.jp/>



弊社は1979年に設立したサキコンサルタンツ株式会社を前身とし、先代表の勇退を機に2021年8月に新たに発足した会社となります。

弊社自体は出来立ての新米企業ですが、前身会社では40年以上に渡り一貫して宅地造成計画、設計業務、各種許認可業務を行ってまいりました。

これに関連した土木的技術の蓄積は多方面にわたっており、特に都市計画法に係る宅地防災マニュアル等に基づく技術解析は十分対応可能な能力を持っております。さらに多くの実績から自治体の条例等に基づく技術解析及び手続きの申請については関連機関との協議を踏まえ迅速に処理できるものと確信しております。



事業紹介(開発許認可業務)

1 事業地の現地調査、行政ヒアリングによる評価助言

現地地形の把握、排水放流先確認、国、県、市等への電話や訪問によるヒアリングを行い、ご依頼の物件の法規制や事業の実現性についてアドバイスします。

行政へのヒアリングでは住民説明会の同意の有無等事業者にとって事業性に最も影響があるものを率先して聴取するよう心がけています。



2 測量、地質調査の内容助言

地質調査や測量は土木設計の分野では主に分業で分割発注となり、事業者にとって必要でない調査や測量をしてしまいがちですが、弊社では提携業者を監修し作業にメリハリをつけ、事業にとって必要最小限の調査を行うよう心がけています。調査したものは必ず設計に生かすよう目的を定め作業を行うことで事業費を抑えることができます。地形測量は規模にもよりますが基本的に3D(UAVレーザー)で調査をさせておりドローンを使用することで作業コストを抑えるようにしております。



3 土地利用計画の提案

事業者の目的を達するための最小の仕事量(土工量)を心がけています。

弊社ではトライエンドエラーを繰り返すため早期に3Dキャド(AutoCAD Civil 3D)を導入し最小造成案を事業者へ提案するノウハウを持っています。

また、事業者のご意向にも寄りますが擁壁等の構造物を最小限にするよう心掛けています。また、メーカーや施工会社と連動し施工性や設備の利用効率を考慮した計画を行うよう心掛けています。



4 開発許可申請に関するコンサルティング

開発許可申請業務はものによっては1年以上掛かる事業もあり、弊社では行政担当者とのコミュニケーションが特に重要と考えています。もちろん事業者の希望に沿って早急に申請を行うことは重要ですが、それ以上に行政や地元住民を含めたコミュニケーションが大切と考えます。

弊社では、経済設計が可能な場合は積極的にエビデンスを提示し行政と折衝するよう心掛けています。また、事業者の希望にもよりますが住民説明会出席だけでなく地元区長との連絡窓口等もサポートさせて頂いております。



事業紹介(設計業務)

1. 建築外構設計

土地利用計画は建築等の基本計画を参考に以下の内容を検討し、外溝用の実施設計図を作成します。また必要に応じて土地利用面積表を作成します。

2. その他外構設計

土地利用計画に基づき技術基準及び計画のコンセプトに合せ、安全で経済的な設計を行います。

3. 擁壁設計及び工作物確認

ブロック積擁壁、RC擁壁等の設計及び工作物申請を行います。

4. 公園、緑地設計

公園(街区、近隣、地区、総合、運動)設計 (都市計画法に拠る自治体帰属用を含む)
緑地設計(敷地全体)・屋上緑化・壁面緑化・造成法面緑化保護等・歩道、散策路修景設計
水路、せせらぎ修景設計・テニスコート、運動場等スポーツ施設

5. 雨水排水設計

排水設計は現況の構造物排水方向、流末等を調査し、状況に即した排水計画を立案します。排水計算は条例等に基づき行い、必要に応じて浸透施設についても考慮します。尚、流末の調査を行った結果、放流先が区域から離れている場合は地区外排水設計を行ない、自費施行申請を行います。

6. 汚水排水設計

区域内の下水は建物からの排水量に基づき管径を決定し、公共枿を設置した上、公共下水に接続します。区域外の下水に余裕が無い場合は流量計算を行い、自費施行申請を行います。

7. 調節池(調整池設計)

下流水路等の流下能力及び開発規模等に応じて調節池(調整池)を設置します。規模、形状は条例等に従って容量計算、構造計算等を行い決定します。

8. 道路設計

道路等の拡幅設計・歩道整備、植栽の設計・都市計画道路詳細設計
開発許可申請による帰風道路の詳細設計・交差点計画設計(交通量解析、交差点計画協議)

9. 造成法面の安定計算と対策

切土法面及び盛土法面は宅地防災マニュアル等の基準に基づき斜面安定計算を行い安全性の判定を行います。

10. 軟弱地盤の対策

N値の少ない軟弱地盤上の盛土に対し、圧密沈下量、沈下時間等の計算より残留沈下量を算定します。残留沈下量等から建物構造物等に影響する場合は問題を解決するための経済的な対策工法、工事費等について総合的に提案します。



建設コンサルタント

株式会社 トーコー福岡

建設コンサルタント 登録番号：建 06 第 11065 号
〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目 10 番 35 号

<https://www.tokoku.co.jp/fukuoka/>



我が国は、高度経済成長期に集中的に整備された橋梁、トンネル、下水といった社会インフラが近年一斉に老朽化していき、これらの社会インフラを限られた人員で効率的に維持管理・更新していく必要があります。国土交通省の発注業務では、プロポ・総合評価方式において新技術の活用を提案した業者を加点して入札で有利に扱うことで新技術の活用を奨励し、効率的により多くの成果を上げるように取り組んでいます。市区町村発注業務においては、国土交通省ほど新技術が活用されていません。

弊社は、特に市区町村からの発注業務において、積極的に新技術等を活用した生産性を高める提案を行うことにより効率的により多くの成果を上げるように努めて、地域インフラの守り手として地域社会に貢献します。

また、弊社は、地元での雇用に努め、所属するベテラン土木技術者から技術の承継を行い、将来の地域社会のインフラの整備や維持管理を担う土木技術者を育成して地域社会へ将来にわたって貢献します。



橋梁

道路・鉄道・河川・谷・海などを越えるために架けられる重要な土木構造物です。

普段何気なく利用する小さな橋梁から観光名所や地域のシンボルとなるような大きな橋梁まで多種多様な形式の橋が日本全国に約70万橋あり、国民の生活には欠かせない役割を担っています。

点検・調査

橋梁を含む土木構造物は、長年の使用により劣化や損傷していき、これらを放置しますと、構造物の安全性や機能が低下して事故の原因につながります。

私たちは、橋梁点検を行い橋梁の劣化・損傷状況を調査し、状況を的確に把握して調査にまとめます。そして、橋梁点検の結果に基づいて従前の壊れてから対処するのではなく、壊れる前に適切な対策を行って橋梁を長持ちさせるためにどのような方法で、どの橋梁から取り掛かったらよいかの橋梁長寿命化修繕計画を立てて、効率・効果的な維持管理に貢献します。



詳細調査

私たちは、劣化機構や損傷原因の解明に必要な詳細調査の提案・実施、およびそれらの結果を踏まえた部材や橋梁の健全性の診断を行います。



新設橋計画及び設計

新しく橋梁を架け替える際は、予備設計として路線条件や交差物件などの外部的な諸条件の他、経済性・構造性・施工性・維持管理性・景観環境性から総合的に勘案して最もふさわしい橋梁形式や支間割を決定します。

予備設計にて橋梁形式や支間割が決定されますと、次は詳細設計として実際の工事に向けた詳細構造を構造解析によって決定し、図面作成及び数量算出などを行い施工計画を作成します。



補修計画及び設計

日本の道路橋は、その多くが高度経済成長期を中心にして大量に建設されており、橋の高齢化が深刻な問題となっています。

私たちは、既設橋の長寿命化や安全安心の確保の観点からの補修設計に取り組んでいます。構造物には、多様な要因により、ひび割れや腐食などの劣化や損傷が生じます。このような劣化や損傷に対する補修は、その原因を見極めることが重要となります。私たちは、劣化や損傷の原因の究明や劣化予測等を行ったうえで、最適な補修工法の提案、補修設計を実施します。



橋梁拡幅計画及び設計

歩道が設置されていない橋や幅員が狭い橋は、歩行者の安全確保ができていなかったり交通の利便性が低かったりという理由で道路改良工事が必要となってきます。

私たちは、周辺環境や路線条件などの外部的な諸条件の他、経済性・構造性・施工性・維持管理性・景観環境性などを考慮し、橋梁拡幅の計画を実施します。



耐震補強計画及び設計

現在の我が国の橋梁は、大規模地震への対応等の要求性能の高度化に対して、補強が必要な橋が多くあります。

耐震補強設計では、耐震補強等が必要な橋に対し、最新の技術を活用した解析やシミュレーションにより既設構造の性能を適切に評価し、合理的な補強工法の提案・補強設計を実施します。



T 豊かな社会を描く、都市と自然の未来のカタチ

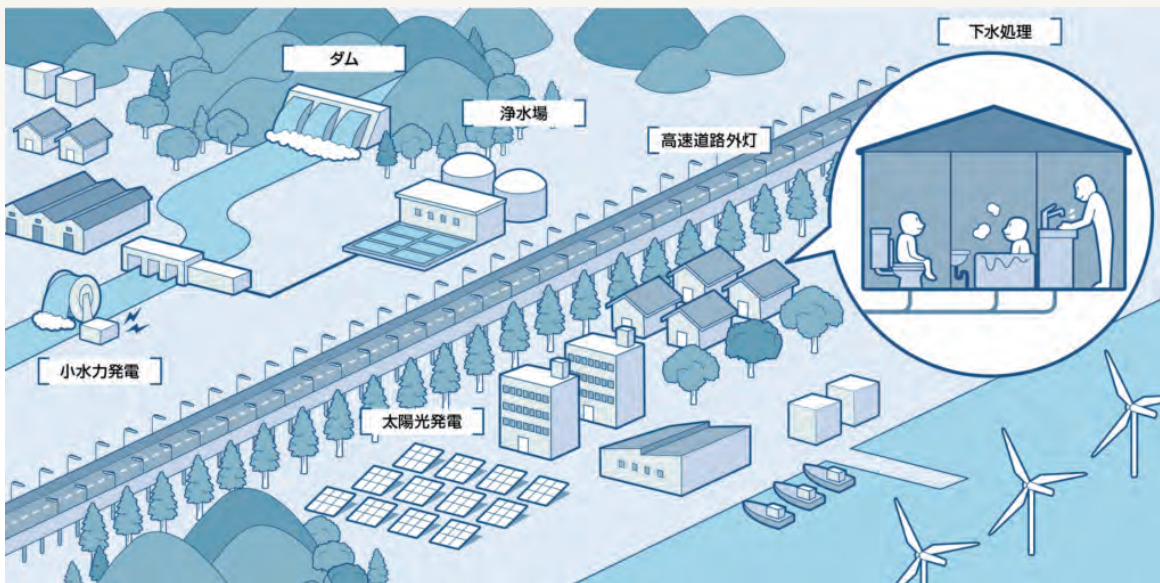
ティー・アンド・ティー株式会社

本社：〒105-0014 東京都港区芝 3-1-14 芝公園阪神ビル3F
大阪支所：〒532-0011 大阪市淀川区西中島 6-9-27 新大阪メイコービル6F

<https://www.e-tandt.co.jp/>



わたしたちティー・アンド・ティー株式会社は、上下水道を中心としたプラント設備、浄水場や下水処理場などの電気設備の設計を中心に、風力、太陽光などの自然エネルギー、道路・トンネル照明等、生活に密接に関わるインフラに使われる技術に関わる業務をおこなっています。



上下水道設備(浄水場・下水処理場など)

社会生活に重要な水道施設、下水道施設に係わる電気設備の調査、計画検討・設計を行っています。

公共施設(高速道路・ダムなど)

社会インフラに必要な道路、トンネル、ダムや庁舎、病院などに係わる電気設備の調査、計画検討、設計を行っています。

自然エネルギー(太陽光発電・小水力発電など)

地球の環境を守るために太陽光発電や小水力発電等に係わる電気設備の調査、計画検討・設計を行っています。



開発販売ソフト「ねこ電」

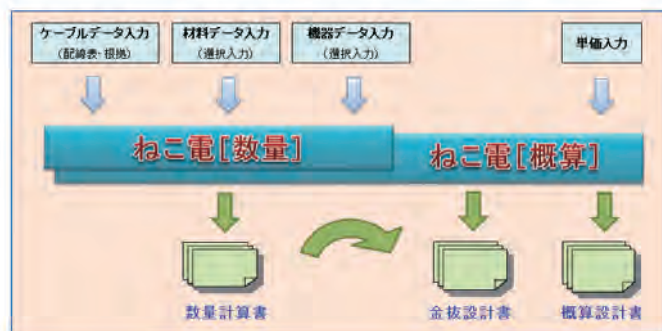
自社で開発販売しているソフトウェア「ねこ電」のご案内です。

「ねこ電」は、電気設備工事の「数量計算書」と「設計書」を速く正確に作成するソフトです。

設計最終段階の積算業務の効率化は、残業時間の削減に繋がりますので、「働き方改革」のお役に立ちます。



- ねこ電【数量】 「数量計算書」を速く正確に作成するソフトです。
- ねこ電【概算】 「数量計算書」と「概算設計書」を速く正確に作成するソフトです。



組合員会社名	代表者氏名	会社所在地	組合加入年月日
1 中央開発株式会社	田中 誠	東京都新宿区西早稲田三丁目13番5号	03-3208-3111 S37.9.1
2 東京コンサルタンツ株式会社	正和 博徳	東京都千代田区神田淡路町二丁目8番地5	03-3255-9682 S37.9.1
3 株式会社東光コンサルタンツ	170-0013 高義 実	東京都豊島区東池袋四丁目41番24号 東池袋センタービル 48階	03-5956-5506 S37.9.1
4 株式会社タイヨーエンジニア	佐藤 芳明	389-0512 長野県東御市湛野北320	0268-62-1700 S40.8.2
5 日建コンサルタンツ株式会社	222-0032 山本 実	神奈川県横浜市西区北青木1丁目353番地	045-433-1611 S53.6.17
6 タナベ環境工学株式会社	後藤 弘樹	870-1117 大分県大分市高江一丁目4323番地の4	097-503-8900 S53.8.11
7 正栄技術コンサルタンツ株式会社	885-0032 大城 和久	宮崎県都城市中原町38番9号	0986-23-6203 S59.8.20
8 株式会社地質基礎	972-8311 新田 邦弘	福島県いわき市常磐水戸野町尾ノ尾 1 7 1 番地	0246-88-8810 S60.9.8
9 株式会社南日本技術コンサルタンツ	890-0034 松元 慎二	鹿児島県鹿児島市上田上三丁目18番20号	099-258-4477 S60.9.18
10 株式会社平設計	110-0005 川崎 良司	東京都台東区東上野6丁目7-13	03-5830-6112 S61.10.7
11 大福コンサルタンツ株式会社	890-0068 福田 真也	鹿児島県鹿児島市東元町17番15号	099-251-7075 S62.2.19
12 株式会社富士和	422-8055 土屋 靖司	静岡県静岡市駿河区寿町12番43号	054-287-7070 S63.5.18
13 箱下コンサルタンツ株式会社	939-3553 青木 敬太郎	富山県富山市水橋の場234番地	076-478-0090 H1.11.29
14 中部地下開発株式会社	920-0205 牧 正人	石川県金沢市大浦町4-51-1	076-237-5000 H1.12.29
15 エイコウコンサルタンツ株式会社	039-1103 山内 一晃	青森県八戸市大字長苗代下下亀子谷地11の2	0178-21-1511 H5.6.1
16 日本エルダルト株式会社	420-0068 浅川 実	静岡県静岡市葵区田町5丁目61番地	054-254-4571 H8.11.25
17 株式会社和幸設計	739-0024 加村 剛司	広島県広島市西条町御園字6227-5	082-437-4000 H9.8.25
18 株式会社東光開発コンサルタンツ	885-0004 星原 英樹	宮崎県都城市都北町511-2	0986-38-4047 H10.7.6
19 株式会社ミヤキョウ	883-0101 那須 信文	宮崎県日向市東郷町山陰乙48番地	0982-69-3158 H10.12.2
20 株式会社アップス	883-0021 山下 良久	宮崎県日向市大字財光寺377番地1	0982-53-0280 H11.1.23
21 株式会社森エンジニアリング	376-0013 森 豊洋	群馬県桐生市広沢町6-268-1	0277-40-2621 H11.3.1
22 株式会社実光測量設計	857-0403 土橋 聡	長崎県佐世保市小佐々町白ノ浦571-24	0956-68-3322 H11.8.5
23 クラウンコンサルタンツ株式会社	330-0064 矢野 悦三	埼玉県さいたま市浦和区岸町2-11-11	048-835-7227 H11.12.1
24 株式会社シーウェイエンジニアリング	003-0002 北海道札幌市白石区東札幌2条5丁目1番25号	011-824-6001 H12.8.31	
25 有限会社北測量	035-0051 常田 嘉一郎	青森県むつ市新町37番18号	0175-22-7740 H14.6.11
26 株式会社コパルト技建	899-2701 中島 順一	鹿児島県鹿児島市石谷町1592-27	099-255-6619 H14.10.30
27 株式会社東京シビルコンサルタンツ	166-0015 河合 正晴	東京都杉並区成田東4-38-19 朝日生命杉並第2ビル 2F	03-5929-1516 H18.2.17
28 株式会社ドボク管理	900-0837 加藤 義文	北海道札幌市中央区南3条5丁目16番地7	0157-36-2233 H18.6.21
29 株式会社兵庫エンジニアリング	669-4133 森 蒼	兵庫県丹波市春日町平松412-1	0795-74-0147 H18.7.31
30 内海建設コンサルタンツ株式会社	700-0961 尾川 仁	岡山県岡山市北区北長瀬本町13番54号	086-255-0011 H20.10.16
31 株式会社水城ネットワーク	134-0088 荒川 洋	東京都江戸川区西葛西6-8-10 朝日生命西葛西ビル 6F	03-5667-6888 H20.12.4
32 株式会社CPC	550-0011 白子 博明	大阪府大阪市西区阿波座2丁目1番1号 CAMCO西本町ビル	06-4300-3201 H21.3.10
33 三州技術コンサルタンツ株式会社	890-0042 川畑 安弘	鹿児島県鹿児島市美原1丁目6番7号	099-285-0039 H21.7.15
34 株式会社ボラリス	581-0031 数井 康幸	大阪府八尾市山本町1丁目10番7号 八千代ビル 2階	072-991-3636 H23.10.1
35 株式会社ニューテック	103-0024 島海 健之	03-5645-3330	H23.11.1
36 株式会社アイエスター	860-0333 島井 幹郎	熊本県熊本市中央区平成3丁目16番13号	096-285-5177 H23.12.1
37 三和建設コンサルタンツ株式会社	170-0005 丸井 渡辺	東京都豊島区南大塚3-10-10 いちご南大塚ビル	03-5954-2211 H24.2.9
38 株式会社幸徳環境設計	231-0007 藤藤 豪史	神奈川県横浜市中区弁天通二丁目30番地 OMT関内ビル 45階	045-264-4761 H24.5.1
39 株式会社ワー	819-0006 吉原 知宏	福岡県福岡市西区姪屋坂南4丁目12番12号	092-882-3188 H24.6.20
40 株式会社鈴幸技術コンサルタンツ	969-0265 鈴木 淳一	福島県西白河郡矢吹町中畑南185番地59	0248-52-3708 H24.7.4
41 日本設計株式会社	231-0028 神奈川県横浜市西区歌町一丁目4番5号 ヨコハマNSビル	045-662-4591 H24.7.10	
42 日本土木設計株式会社	231-0033 吉野 茂	神奈川県横浜市中区長者町二丁目5番14号	045-663-3264 H24.8.1
43 ベン株式会社	113-0033 東郷 文京	東京都文京区本郷2-11-10-20	03-5805-1445 H24.11.1
44 株式会社昭和設計コンサルタンツ	530-0044 木村 靖彦	大阪府大阪市北区東天満2丁目9番4号 千代田ビル 4階403号	06-6357-7011 H25.5.8
45 株式会社雪研ソリューションズ	060-0062 大槻 政成	北海道札幌市中央区南2条西7丁目5番地6 第3ビルビル 48F	011-272-3540 H25.9.17
46 株式会社オリエントアイエヌジー	850-0022 中島 駿	長崎県長崎市馬場55番地	095-821-5656 H25.11.25
47 株式会社ブライア・コンサルタンツ	213-0011 神奈川県川崎市高津区久本3-5-7-3階	044-850-2220 H26.5.13	
48 株式会社E-SYSTEM	812-0020 藤本 尚伸	福岡県福岡市博多区対馬小路1-21 77ビル 47F 3階	092-282-6850 H26.11.26
49 株式会社第一技術コンサルタンツ	537-0025 大阪府大阪市東区中道3丁目15番16号	06-6796-4503 H27.1.9	
50 保全技術株式会社	136-0076 石井 修	東京都江東区南砂二丁目2番17号	03-5633-8181 H27.9.15
51 株式会社大野土木	222-0032 神奈川県横浜市港北区大塚1丁目470	045-434-3606 H27.10.2	
52 株式会社エヌ・アイ・エヌコンサルタンツ	528-0005 滋賀県甲賀市水口町水口6141番地3	0748-65-2401 H28.3.3	
53 株式会社アジャ技術コンサルタンツ	890-0069 鹿児島県鹿児島市南元町25番1号	099-251-2160 H28.3.22	
54 株式会社CORE技術研究所	530-0047 大阪府大阪市西区天満1-2-5 大阪 J A ビル4F	06-6367-2122 H28.3.31	
55 株式会社興和	039-1101 青森県八戸市大字尻内町字尻内河原65番地1	0178-70-2771 H28.4.5	
56 株式会社遠藤設計事務所	110-0914 遠藤 単人	秋田県秋田市保野千代町9-43	018-863-8011 H28.4.20
57 株式会社日本設計コンサルタンツ	330-0062 小暮 綱希	埼玉県さいたま市浦和区仲町1-11-12	048-824-5811 H28.5.17
58 野外科科学株式会社	065-0043 高岡 伸一	北海道札幌市東区苗穂町12丁目2番39号	011-751-5151 H28.6.1
59 株式会社エルコンコンサルタンツ	651-0087 河野 陽子	兵庫県神戸市中央区御幸通四丁目2番9号	078-222-2108 H28.6.10
60 株式会社アサヒクラフトエンジニア	812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目18-6 博多テラス 4F	092-436-8015 H28.9.6	
61 株式会社トリニティ	110-0005 東京都台東区上野7-9-15 アクシオンビル 6F	03-6231-6280 H28.11.16	
62 株式会社朝日設計事務所	702-8021 岡山県岡山市南区福田2-1-1-9	086-263-0860 H28.11.24	
63 株式会社土木技術コンサルタンツ	733-0011 広島県広島市西区横川町2-7-1-9 横川メディカルプラザ7F	082-235-0211 H28.11.25	
64 株式会社新野設計	176-0021 東京都練馬区貫井2-1-2-9 NKビル4F	03-3825-0710 H29.1.31	
65 ビーシー技研株式会社	336-0017 埼玉県さいたま市南区南浦和2-4-0-2	048-882-1181 H29.5.8	
66 株式会社ドボクエンジニアリング	103-0024 東京都中央区日本橋小町11-7 ダイセンビルディング 4階	03-6328-0660 H29.9.19	
67 株式会社長大テック	732-0014 東京都中央区日本橋蛸船町1-2-0-4	03-3639-3411 H29.10.10	
68 新開発コンサルタンツ株式会社	103-0052 広島県広島市東区光町一丁目3番5号	082-263-1928 H29.12.20	
69 株式会社フルテック	932-0031 富山県小矢部市岡312番地	0766-54-6195 H30.2.9	
70 南日本地質調査株式会社	891-0108 鹿児島県鹿児島市中山11-9-15	099-298-5270 H30.2.15	
71 日本建設技術株式会社	847-1201 佐賀県唐津市北波多徳須須1417-1	0955-64-2525 H30.2.20	
72 関西設計株式会社	550-0002 大阪府西区江戸堀2丁目6番33号 江戸堀フコク生命ビル 5・6階	06-6479-9050 H30.3.12	
73 N E テクノ株式会社	336-6018 埼玉県さいたま市南区南本町二丁目1番5号 西原ビル 3階	048-827-1210 H30.4.5	
74 株式会社イミブラン	730-0846 広島県広島市西区西川町4-6-1	082-235-0770 H30.7.31	
75 株式会社エムアンドビーエンジニアリング	160-0011 東京都新宿区若葉1-5-15	03-3225-1081 H30.8.31	
76 株式会社融設計	731-5124 広島県広島市佐伯区皆賀2-8-30	082-943-5537 H31.2.28	
77 株式会社サンプレーン・プラン	771-1156 徳島県徳島市志摩町志摩産業団地11-9	088-641-3901 H31.4.12	
78 ジーエスアイ株式会社	130-0805 茨城県水戸市中央2-8-8 アンスト第2ビル3F	029-302-5238 R1.7.8	
79 株式会社駿府設計	169-0073 東京都新宿区百人町1-13-1	03-3361-8431 R1.9.4	
80 株式会社ジェーエスエック	338-0011 埼玉県さいたま市中央区新中里4-14-17	048-834-6873 R1.9.24	
81 株式会社弘洋第一コンサルタンツ	168-0063 東京都杉並区和泉1丁目22番19号 朝日生命代田橋ビル 5階	03-3339-2191 R1.10.15	
82 株式会社しな潤	389-2253 長野県飯山市大字飯山955-1	0269-62-2577 R2.2.17	
83 株式会社東和エンジニアリング	981-3341 宮城県富谷市成田3-2-11	022-725-8471 R2.3.24	
84 株式会社地域開発	850-0022 長崎県長崎市馬場56	095-820-8430 R2.4.23	
85 株式会社ワイド	396-0026 長野県伊那市西町5845-1	0265-78-7533 R2.9.8	
86 株式会社K S K	302-0024 茨城県取手市新町1-2-35	0297-70-5961 R2.10.15	
87 株式会社コスモ	669-5221 兵庫県朝来市和山町秋葉台2番地105	079-672-5483 R3.3.3	
88 株式会社藤建技術設計センター	963-6131 福島県東白川郡棚倉町大字棚倉中屋宇65番地	0247-33-2464 R3.4.10	
89 株式会社太陽測量設計	039-1101 青森県八戸市大字尻内町字上張田23-2	0178-27-1825 R3.7.20	
90 株式会社施工技術研究所	170-0013 東京都豊島区東池袋四丁目26番1号 丸の内ビル 第二ビル 42階	03-5957-7391 R3.7.26	
91 株式会社C-Cot	857-0058 長崎県佐世保市上町1番1号	0956-23-6578 R3.10.29	
92 株式会社マリンサポートエンジニアリング	812-0017 福岡県福岡市博多区東区1丁目16番8号	092-260-9388 R4.2.24	
93 株式会社エー・アール・イー	814-0163 福岡県福岡市早良区千隈5丁目25番20号	092-834-2730 R4.2.26	
94 構造物設計株式会社	532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-7-8	06-6838-3522 R4.3.3	
95 株式会社エース	399-4501 長野県伊那市西宮袋2700-51	0265-74-0025 R4.3.11	
96 株式会社東洋シビル	361-0023 埼玉県行田市長野4丁目29-41	048-558-3483 R4.3.30	
97 株式会社大道技術設計	969-0261 福島県西白河郡矢吹町弥栄298	0248-42-4093 R4.4.15	
98 環境都市設計株式会社	380-0803 長野県長野市大字三輪1324番地11 TM三輪ビル	026-238-2368 R4.7.11	
99 クマギ建設コンサルタンツ株式会社	400-0104 山梨県甲斐市能地6457-1	0551-35-9311 R4.9.9	
100 A P L U S 株式会社	135-0004 東京都江東区森下2-19-10	03-6659-5922 R5.1.11	
101 株式会社中研コンサルタンツ	551-0021 大阪府大阪市大正区南恩加島7-1-34	06-6556-2380 R5.2.13	
102 株式会社ジューフェイス	400-0031 山梨県甲府市丸の内二丁目1番1号 開脚堂土屋ビル4階	055-223-2003 R5.2.2	
103 株式会社鈴木測量事務所	997-0046 山形県鶴岡市みどり町6番7号	0235-22-3174 R5.2.10	
104 大分技術開発株式会社	877-0025 大分県日田市田島1丁目17-10	0979-22-3181 R5.2.14	
105 三展ミネコンサルタンツ株式会社	300-0037 茨城県土浦市桜町4-11-14	029-826-2536 R5.4.7	
106 トレンドデザイン株式会社	233-0013 神奈川県横浜市港南区丸山台2-1-1 鈴栄ビル	045-353-7250 R5.4.20	
107 株式会社戸田芳樹風景計画	151-0053 東京都渋谷区代々木1丁目136番1号	03-3320-8601 R6.3.26	
108 株式会社日橋コンサルタンツ	710-0837 岡山県倉敷市沖新町48-19	086-430-3360 R6.4.11	
109 株式会社長島設計事務所	171-0022 東京都豊島区南池袋2-12-5 第三中野ビル 4階A号室	03-5904-9169 R6.8.5	
110 株式会社トコー和歌山	646-0050 和歌山県田辺市天神崎6番28号 小松ビル	0739-81-1666 R6.8.26	
111 株式会社龍川土木コンサルタンツ	448-0037 愛知県刈谷市高倉町4-508	0556-24-6606 R7.2.3	
112 サキコンサルタンツ株式会社	153-0063 東京都目黒区目黒1丁目1番1号	03-3792-9536 R7.7.4	
113 株式会社トコー福岡	812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅前2丁目10番35号	092-437-9600 R7.8.8	
114 ティー・アンド・ティー株式会社	105-0014 東京都港区芝3-1-14 芝公園阪神ビル3F	03-5444-3781 R7.8.18	
115 株式会社水環コンサルタンツ	880-0021 宮崎県宮崎市大字本郷南方3989番地1 関屋第一ビル 108号室	0985-65-8844 R8.3.3	
116 株式会社フエックスリサーチ	161-0033 東京都新宿区下落合1-7-11 栄新ビル 2階	03-6908-8658 R8.4.16	
117 秀和設計コンサルタンツ株式会社	038-3141 青森県つがる市木造浮葉97-2	0173-42-1158 R8.4.21	
118 株式会社トラストプラン	036-8085 青森県弘前市大字末広二丁目6-5 1階	0172-28-6222 R8.5.7	



KENCON COOP
JOURNAL

編集／発行



建設コンサルタンツ協同組合
Japan Consulting Engineers Cooperation

〒110-0001

東京都台東区谷中3-1-5 谷中ミハマビル 303号

TEL. 03-5834-7760 FAX. 03-5834-7761

URL <http://www.kencon-coop.or.jp>

E-mail webmaster@kencon-coop.or.jp